

# 金沢美術工芸大学 令和5年度一般選抜 試験問題

日本画	<p><b>実技試験Ⅰ（着彩描写）</b> モチーフ「アルミ製シート」「風呂用洗剤スプレーボトル」「新たまねぎ（やや発芽した状態）」「ちくわ」「植物ポット（アプリコットジャム）」</p> <p><b>実技試験Ⅱ（着彩写生及び面接）</b> モチーフ「するめ」</p>
油 画	<p><b>実技試験（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）</b> 石膏像ヘルメス胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用すること。</p> <p><b>作品提出（油彩又はアクリル）・面接</b> 自画像を描きなさい。</p>
彫 刻	<p><b>実技試験Ⅰ（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）</b> 「石膏像アリアス」をデッサンしなさい。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（塑造及びスケッチ）</b> 「～とマスクをした私」～に各自適切な言葉を入れてタイトルとし、粘土で立体作品を制作しなさい。</p>
芸術学	<p><b>実技試験</b> モチーフ「コカコーラの瓶」 与えられたモチーフのラベルの内容などにも着目しながら、自由に配置し、解答用紙にデッサンしなさい。 そのほか、モチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど、それらのプランの概要を簡単な図を用いて解答用紙に、モチーフのデッサンと共に構成しなさい。 尚、モチーフから想像した作品、展示(展覧会)、プロジェクトなどは、自由な発想で実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。</p> <p><b>小論文</b> 実技試験問題にある「与えられたモチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど」について、解答用紙に1000字程度で解説しなさい。</p>
ホリスティック デザイン	<p><b>実技試験（デッサン）</b> 与えられたモチーフ（プラスチックカプセル1セット、カード1枚）と自身の手を構成し描写しなさい。</p> <p><b>実技試験（色彩構成）</b> 与えられたキーワード「繋がり」からイメージを広げ、「躍動感」を感じる色彩構成をしなさい。また、説明用紙にタイトルと制作意図を200文字以内で記入しなさい。</p> <p><b>実技試験（立体構成）</b> 与えられた材料「紙コップ」と「糸」、「割り箸」を用い、各材料の特性を活かして「生き物の家」をテーマに美しく立体構成しなさい。また、説明用紙にタイトルと制作意図を200文字以内で記入し、「生き物」の目線で作品をスケッチしなさい。</p>
インダストリアル デザイン	<p><b>実技試験（鉛筆デッサン）</b> 「耐火シート」「焚き火台」「薪」「ヤカン」「タオル」「水の入ったグラス」を描きなさい。</p> <p><b>実技試験（色彩表現）</b> モチーフ「木製フォーク」の形の特徴を捉えて自由に構成し、美しく色彩表現しなさい。</p> <p><b>実技試験（立体表現）</b> 与えられた粘土の全てを使い球体を制作した上で、1/3程度の粘土を削り取り、美しい曲面の流れを表現しなさい。</p>
工 芸	<p><b>実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン）</b> 「生花」「水の入ったガラス瓶」「コルク蓋」「紙風船」「レンガ」「ボディタオル」をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（立体表現）</b> 与えられた「かぼちゃ」と「縄」をモチーフとして、自由に想定した多面体を組み合わせ、粘土を用いて立体表現しなさい。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（色彩表現）</b> 与えられたモチーフ「紙ストロー」「ポリ袋」を構成し、条件に従って色彩表現しなさい。</p>

令和5年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
美術科 油画専攻 一般選抜入学試験

実技試験

(木炭デッサン又は鉛筆デッサン)

問題

石膏像 ヘルメス胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用する。

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和5年度 一般選抜

実技試験Ⅰ 木炭・鉛筆デッサン（令和5年3月11日実施）

試験問題

「石膏像アリアス」をデッサンしなさい。

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和5年度 一般選抜 実技試験Ⅱ スケッチ・塑造（令和5年3月12日実施）

[試験問題]

「 ～ と マスクをした私」

～に各自適切な言葉を入れてタイトルとし、粘土で立体作品を制作しなさい。

[課題1] スケッチ、タイトル・副題、制作意図（8:30～12:00） 200点

配布された画用紙にスケッチや文字を用いて、立体作品の構想を表しなさい。

解答用紙に作品のタイトルおよび副題と制作意図（150字～200字）を記しなさい。

[課題2] 塑造（8:30～16:45 休憩は12:00～12:45）500点

試験問題にしたがって、粘土で立体作品を制作しなさい。

\* 立体作品を制作する過程で、スケッチに描いた構想が変わっても構いません。

\* [課題1] [課題2] はどちらから始めても構いません。時間の配分も自由とします。  
ただし [課題1] の画用紙と解答用紙は12:00に集めますので注意してください。

令和 5 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

実技試験問題

与えられたモチーフのラベルの内容などにも着目しながら、自由に配置し、解答用紙にデッサンしなさい。

そのほか、モチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど、それらのプランの概要を簡単な図を用いて解答用紙に、モチーフのデッサンと共に構成しなさい。

尚、モチーフから想像した作品、展示(展覧会)、プロジェクトなどは、自由な発想で実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。

令和 5 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

小論文試験問題

実技試験問題にある「与えられたモチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど」について、解答用紙に 1000 字程度で解説しなさい。

令和 5 年 3 月 13 日

令和 5 年度

受験番号

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 デッサン

### 【 問題 】

与えられたモチーフ（プラスチックカプセル 1 セット、カード 1 枚）と自身の手を構成し描写しなさい。

### 【 条件 】

- ・ 描写するモチーフは各 1 つずつです。
- ・ 画面上で勝手にモチーフを増やしてはいけません。
- ・ カードは 2 枚配布しますが、その内の 1 枚は予備です。
- ・ モチーフの加工は自由とします（失敗してもモチーフの再配布はありません）。
- ・ 画用紙の縦横は自由とします。
- ・ 画用紙の裏面中央に矢印（↑）を記入しなさい。矢印方向が「上」になります。
- ・ 与えられた A4 用紙は下書き用です。

### 【 注意事項 】

- ・ 使用できるものは、デッサン用具のみです（デッサンスケール、はかり棒、定規、フィキサチーフ、電動消しゴムはデッサン用具と認めません）。
- ・ 周囲の受験生の迷惑とならないよう注意して作業をおこなってください。
- ・ 試験に関する質問は一切認めません。
- ・ 問題用紙、用紙は試験終了後、全て回収します。

以上

令和 5 年 3 月 14 日

令和 5 年度

受験番号

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 色彩構成

### 【 問題 】

与えられたキーワード「繋がり」からイメージを広げ、「躍動感」を感じる色彩構成をしなさい。また、説明用紙にタイトルと制作意図を 200 文字以内で記入しなさい。

### 【 条件 】

- ・ ボード全面に着彩しなさい。
- ・ ボードの縦横は自由とします。
- ・ ボードの裏面中央に矢印（↑）を記入しなさい。矢印方向が「上」になります。
- ・ 与えられた A4 用紙は下書き用です。

### 【 注意事項 】

- ・ からすぐち、マスキングテープの使用は認めません。
- ・ 色見本帳の使用は認めません。
- ・ 周囲の受験生の迷惑とならないよう注意して作業をおこなってください。
- ・ 試験に関する質問は一切認めません。
- ・ 問題用紙、説明用紙、下書用紙は試験終了後、全て回収します。

以上



令和 5 年 3 月 14 日

令和 5 年度

受験番号

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 立体構成

### 【 問題 】

与えられた材料「紙コップ」と「糸」、「割り箸」を用い、各材料の特性を活かして「生き物の家」をテーマに美しく立体構成しなさい。また、説明用紙にタイトルと制作意図を 200 文字以内で記入し、「生き物」の目線で作品をスケッチしなさい。

### 【 条件 】

- ・ 立体物の大きさは台紙の幅・奥行きの範囲とし、高さ 30 cmを超えないこと。
- ・ 与えられた A4 用紙は形の検討や考えをまとめる等に使用しなさい。

### 【 注意事項 】

- ・ 素材の切断は専用のカッター作業用台紙（黄板紙）の上で行いなさい。
- ・ 立体物は台紙に接着し、しっかり固定しなさい。
- ・ 作業は自席に座って行いなさい。
- ・ 周囲の受験生の迷惑とならないよう注意して作業をおこなってください。
- ・ 試験に関する質問は一切認めません。
- ・ 問題用紙、説明用紙、配布物は試験終了後、全て回収します。

以上

受験番号	
------	--

令和5年度  
金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻  
実技試験 鉛筆デッサン 問題用紙

問題:

「耐火シート」「焚き火台」「薪」「ヤカン」「タオル」「水の  
入ったグラス」を描きなさい

条件:

- 1 すべてのモチーフを画面に収めること。ただし、耐火シートは画面からはみ出しても良い。
- 2 モチーフの下に敷いた白い板、机は描かないこと。
- 3 用紙の縦横は自由とする。

注意:

- 1 試験問題に関する質問は受け付けません。
- 2 問題用紙の空欄はメモに使用し、受験番号を記入し画用紙と一緒に提出してください。  
(足りない場合は裏面を使用してください)
- 3 画用紙は番号枠側が裏面です。デッサンは表面に描いてください。

令和5年度  
金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻  
実技試験 色彩表現 問題用紙

## 問題:

モチーフの形の特徴を捉えて自由に構成し、  
美しく色彩表現しなさい。

## 条件:

- 1 与えられたモチーフは自由に使って検討してよい。
- 2 モチーフの実際の用途にとらわれず、自由に構成しなさい。
- 3 モチーフの色・素材を自由に変えて描いてよい。
- 4 モチーフはいくつ描いてもよい。
- 5 モチーフの拡大縮小は自由に行ってよい。
- 6 モチーフは画面からはみ出してもよい(トリミングしてよい)。
- 7 ボードの裏面中央に作品の上方向を矢印(↑)で記載すること。
- 8 塗り残しをしないこと。白を塗ってもよい。
- 9 用紙の縦横は自由とする。

## 配布物:

- 1 KMKケントボード A3 3mm 白 1枚
- 2 問題用紙
- 3 草案用紙2枚 (足りない場合は裏面を使用してください)
- 4 モチーフ(竹製フォーク5本)

## 提出物:

- 1 A3ケントボード
- 2 問題用紙と草案用紙2枚

## 注意:

- 1 試験問題に関する質問は受け付けません。
- 2 マスキングテープの使用は認めません。
- 3 色見本帳の使用は認めません。
- 4 ケントボードは番号枠側が裏面です。色彩表現は表面に描いてください。
- 5 モチーフは持ち帰ってください。
- 6 モチーフ以外の配布物は全て試験終了後に回収します。
- 7 廃水は、廊下にある廃水容器に捨ててください。

受験番号

令和5年度  
金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻  
実技試験 立体表現 問題用紙

問題：

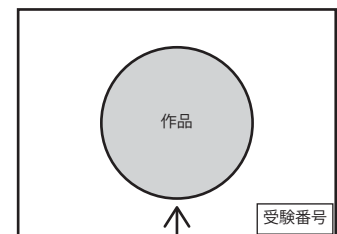
与えられた粘土の全てを使い球体を制作した上で、  
1/3程度の粘土を削り取り、  
美しい曲面の流れを表現しなさい。

条件：

- 1 球体のイメージを残すこと。
- 2 削り取った面を美しく整えること。
- 3 底面を作り、転がらないようにすること。
- 4 立体は粘土板(小)からはみ出さないこと。
- 5 立体は粘土板(小)に載せた状態で提出すること。

配布物：

- 1 粘土3kg
- 2 粘土板(大)
- 3 粘土板(小)
- 4 雑巾
- 5 ヘラセット(金切鋸刃・切り弓・彫塑ペラ・平線かきペラ)
- 6 霧吹き
- 7 ボウル(水入れ用)
- 8 問題用紙
- 9 草案用紙2枚(足りない場合は裏面を使用してください)



提出時の作品の配置

提出物：

- 1 粘土板(小)と作品
- 2 問題用紙と草案用紙2枚

注意：

- 1 試験問題に関する質問は受け付けません。
- 2 配布物は全て試験終了後に回収します。
- 3 粘土板(小)に、受験番号が右手前になるように作品を配置して提出してください。

令和5年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅰ 「鉛筆デッサン」

問題

「生花」「水の入ったガラス瓶」「コルク蓋」  
「紙風船」「レンガ」「ボディタオル」

をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。

<条件>

- ・ 画面は縦位置・横位置自由とする。
- ・ 合板上にモチーフを自由に配置すること。

<注意>

- ・ 配布した草案用紙を使用し、持参した紙やスケッチブック等は使わない事。
- ・ モチーフと問題用紙と草案用紙は試験終了時に回収する。
- ・ この問題に対する質問には応じない。

<配布物>

- ・ 問題用紙 : 1枚
- ・ モチーフ : 「生花」2本、「水の入ったガラス瓶」1本、「コルク蓋」1個、  
「紙風船」1個、「レンガ」1個、「ボディタオル」1枚
- ・ 草案用紙 : 5枚
- ・ 合板 : 1枚

令和5年度 金沢美術工芸大学 工芸科

## 実技試験Ⅱ「立体表現」

### 問題

与えられた「かぼちゃ」と「縄」をモチーフとして、自由に想定した多面体を組み合わせ、粘土を用いて立体表現しなさい。

\*多面体：平面だけで囲まれている立体。

### 条件

1. モチーフ及び多面体の個数、大きさ、長さなどの設定は自由とする。
2. 使用する粘土の量は与えられた範囲内で自由とする。
3. 解答作品は塑像板からはみ出さないこと。
4. 解答作品は高さ30cm以内とする。

### 注意

1. 解答作品は試験終了後に採点のために移動させるので、強度には注意すること。
2. 粘土は必要な量だけ袋から取り出して使用すること。
3. 募集要項に指定された持参用具と机上に準備された用具以外は使用しないこと。
4. 配布されたヘラは加工しないこと。
5. モチーフは加工しないこと、ただし縄の末端のテープは取り外しても構わない。
6. 粘土の中に異物を入れないこと。
7. モチーフ、用具、問題用紙、エスキース用紙など配布したものを持ち帰らないこと。
8. 塑像板右下にある受験番号側を正面にして制作すること。

### モチーフ

4分の1に切ったかぼちゃ：1個

縄：1本

### 配布物

水粘土 1kg×8個、粘土板大（練り用）、粘土板小（塑像板）、塑像用具一式、霧吹き、雑巾2枚、水入れ、エスキース用紙5枚、

実技試験Ⅱ 「色彩表現」

問題

与えられたモチーフを構成し、条件に従って色彩表現しなさい。

条件

- ・モチーフは「紙ストロー」と「ポリ袋」とする。
- ・モチーフの扱いは自由とする。
- ・画面内で描くモチーフの数はそれぞれ1つ以上とし、大きさや表現方法は自由とする。
- ・無彩色を1色以上、異なる3色相以上の有彩色を必ず使用すること。  
(無彩色とは白、灰、黒のことを指し、有彩色とは無彩色以外のすべての色を指す)
- ・モチーフの「紙ストロー」は固有色(白)以外の色を設定すること。
- ・画面の縦横は自由とする。
- ・画面の上部中央に○印を鉛筆で記入すること。

注意

- ・草案用紙を配布するので、持参した紙やスケッチブック等は使わないこと。
- ・モチーフ、問題用紙、草案用紙は試験後に回収する。
- ・この問題に対する質問に応じない。

配布物

- ・問題用紙：1枚
- ・モチーフ「紙ストロー」：2本、「ポリ袋」：2枚
- ・B3 バロンケントボード：1枚
- ・草案用紙：5枚